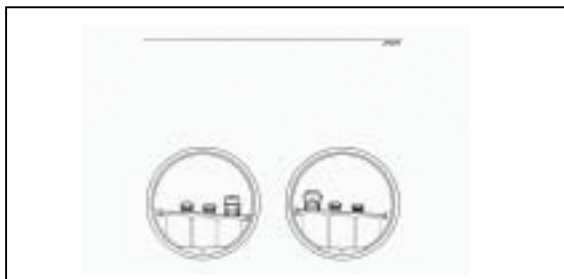


生活に与える影響

地域分断の影響

①外環本線は地下を走ります



連絡路が本線から分岐する位置から開削ボックスとして地表から掘り下げて工事する必要があります。

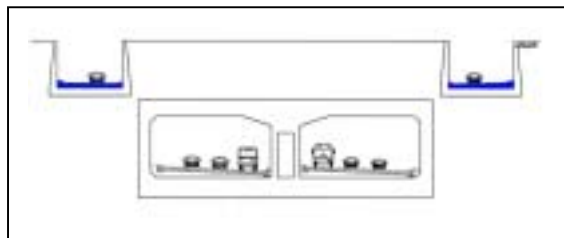
このうち連絡路が地下にある区間では、工事後、埋め戻しをして地上を住宅や公園などに利用することも可能であると考えています。

②まず、連絡路が外環本線から分岐します



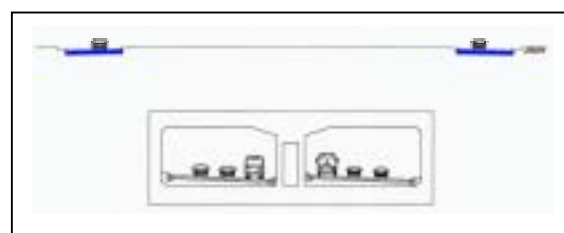
連絡路が半地下、地表、高架となる区間では地域分断の影響が懸念されますので、横断連絡路等で影響を緩和することが必要です。

③次に、連絡路が半地下構造となります



○現都市計画（高架構造）
延長 約 16 km

④連絡路が地表に現れます(アクセス道路に接続します)



○地下構造の場合

各インターチェンジがある場合

	開削ボックスと考えられる区間	シールドと考えられる区間
延長	約 8 km	約 8 km

各インターチェンジがない場合

	開削ボックスと考えられる区間	シールドと考えられる区間
延長	約 5 km	約 11 km

⑤ジャンクションでは、連絡路は高架構造で高速道路と接続します。

